

各段階における到達目標

中一種免（社会）＜国際日本学部 国際日本学科＞

履修年次		到達目標
年次	学期	
1 年次	春学期	日本語、外国語及び情報機器によるコミュニケーション能力並びに文章力を身につけようとする意欲を有し、さまざまな領域の基礎的学問を通して、大学で学ぶ目的・目標を自覚している。
	秋学期	日本語、外国語及び情報機器によるコミュニケーション能力並びに文章力の基礎を身につけ、哲学、歴史、地理学及び社会学などの領域を中心とするさまざまな領域の基礎的学問を通して、自分の将来設計について論理的に説明できる。
2 年次	春学期	歴史、文化、地域や社会に関する研究の意義を認識し、これから進めてゆく自身の学びについて方向を定め、与えられた課題について調査・分析し、これらに対する自身の意見を述べることができる。
	秋学期	歴史、文化、地域や社会に関する研究の意義を認識し、専攻する分野を絞り込みながら、与えられた課題について調査・分析し、所属しようとするゼミナールの担当教員に対して説得力のあるプレゼンテーションを行うことができる。
3 年次	春学期	古代から現代までにわたる日本の歴史、外国（東洋・西洋）の歴史、文化及び地理に関する研究の社会的位置づけを理解し、自ら課題を発見し、広く調査・分析して、これらに対するアカデミックな意見を述べることができる。
	秋学期	古代から現代までにわたる日本の歴史、外国（東洋・西洋）の歴史、文化及び地理に関する知識や理解を深め、自ら研究テーマを設定し、広く調査・分析して、卒業研究等を視野に入れた説明をすることができる。
4 年次	春学期	歴史、地域や社会に関する研究を通して、人類が創造してきた文化に関する深い洞察力と高い教養を身につけ、自ら設定した研究テーマについて調査・分析した結果を口頭及び文章で発表することができる。
	秋学期	歴史、地域や社会に関する研究を通して、人類が創造してきた文化に関する深い洞察力と高い教養を身につけ、自ら設定した研究テーマについて調査・分析し、その結果を、専門知識のない人に対しても、わかりやすく説明することができる。

履修年次		到達目標
年次	学期	
1 年次	春学期	日本語、外国語及び情報機器によるコミュニケーション能力並びに文章力を身につけようとする意欲を有し、さまざまな領域の基礎的学問を通して、大学で学ぶ目的・目標を自覚している。
	秋学期	日本語、外国語及び情報機器によるコミュニケーション能力並びに文章力の基礎を身につけ、歴史学及び地理学などの領域を中心とするさまざまな領域の基礎的学問を通して、自分の将来設計について論理的に説明できる。
2 年次	春学期	歴史学及び地理学に関する研究の意義を認識し、これから進めてゆく自身の学びについて方向を定め、与えられた課題について調査・分析し、これらに対する自身の意見を述べることができる。
	秋学期	歴史学及び地理学に関する研究の意義を認識し、専攻する分野を絞り込みながら、与えられた課題について調査・分析し、所属しようとするゼミナールの担当教員に対して説得力のあるプレゼンテーションを行うことができる。
3 年次	春学期	古代から現代までにわたる日本の歴史、外国（東洋・西洋）の歴史、文化及び地理に関する研究の社会的位置づけを理解し、自ら課題を発見し、広く調査・分析して、これらに対するアカデミックな意見を述べることができる。
	秋学期	古代から現代までにわたる日本の歴史、外国（東洋・西洋）の歴史、文化及び地理に関する知識や理解を深め、自ら研究テーマを設定し、広く調査・分析して、卒業研究等を視野に入れた説明をすることができる。
4 年次	春学期	歴史学及び地理学に関する研究を通して、人類が創造してきた文化に関する深い洞察力と高い教養を身につけ、自ら設定した研究テーマについて調査・分析した結果を口頭及び文章で発表することができる。
	秋学期	歴史学及び地理学に関する研究を通して、人類が創造してきた文化に関する深い洞察力と高い教養を身につけ、自ら設定した研究テーマについて調査・分析し、その結果を、専門知識のない人に対しても、わかりやすく説明することができる。

中一種免（国語）＜国際日本学部 国際日本学科＞

履修年次		到達目標
年次	学期	
1 年次	春学期	日本語、外国語及び情報機器によるコミュニケーション能力並びに文章力を身につけようとする意欲を有し、さまざまな領域の基礎的学問を通して、大学で学ぶ目的・目標を自覚している。
	秋学期	日本語、外国語及び情報機器によるコミュニケーション能力並びに文章力の基礎を身につけ、日本語、日本文学及びアジア文化・文学などの領域を中心とするさまざまな領域の基礎的学問を通して、自分の将来設計について論理的に説明できる。
2 年次	春学期	日本語、日本文学及び漢文学、書道に関する研究の意義を認識し、これから進めてゆく自身の学びについて方向を定め、与えられた課題について調査・分析し、これらに対する自身の意見を述べることができる。
	秋学期	日本語、日本文学及び漢文学、書道に関する研究の意義を認識し、専攻する分野を絞り込みながら、与えられた課題について調査・分析し、所属しようとするゼミナールの担当教員に対して説得力のあるプレゼンテーションを行うことができる。
3 年次	春学期	日本語、日本文学及び漢文学に関する研究の社会的位置づけを理解し、自ら課題を発見し、広く調査・分析して、これらに対するアカデミックな意見を述べることができる。
	秋学期	日本語、日本文学及び漢文学に関する知識や理解を深め、自ら研究テーマを設定し、広く調査・分析して、卒業研究等を視野に入れた説明をすることができる。
4 年次	春学期	日本語、日本文学及び漢文学に関する研究を通して、人類が創造してきた文化に関する深い洞察力と高い教養を身につけ、自ら設定した研究テーマについて調査・分析した結果を口頭及び文章で発表することができる。
	秋学期	日本語、日本文学及び漢文学に関する研究を通して、人類が創造してきた文化に関する深い洞察力と高い教養を身につけ、自ら設定した研究テーマについて調査・分析し、その結果を、専門知識のない人に対しても、わかりやすく説明することができる。

履修年次		到達目標
年次	学期	
1 年次	春学期	日本語、外国語及び情報機器によるコミュニケーション能力並びに文章力を身につけようとする意欲を有し、さまざまな領域の基礎的学問を通して、大学で学ぶ目的・目標を自覚している。
	秋学期	日本語、外国語及び情報機器によるコミュニケーション能力並びに文章力の基礎を身につけ、日本語学、日本文学及びアジア文化・文学などの領域を中心とするさまざまな領域の基礎的学問を通して、自分の将来設計について論理的に説明できる。
2 年次	春学期	日本語学、日本文学及び漢文学に関する研究の意義を認識し、これから進めてゆく自身の学びについて方向を定め、与えられた課題について調査・分析し、これらに対する自身の意見を述べることができる。
	秋学期	日本語学、日本文学及び漢文学に関する研究の意義を認識し、専攻する分野を絞り込みながら、与えられた課題について調査・分析し、所属しようとするゼミナールの担当教員に対して説得力のあるプレゼンテーションを行うことができる。
3 年次	春学期	日本語学、日本文学及び漢文学に関する研究の社会的位置づけを理解し、自ら課題を発見し、広く調査・分析して、これらに対するアカデミックな意見を述べることができる。
	秋学期	日本語学、日本文学及び漢文学に関する知識や理解を深め、自ら研究テーマを設定し、広く調査・分析して、卒業研究等を視野に入れた説明をすることができる。
4 年次	春学期	日本語学、日本文学及び漢文学に関する研究を通して、人類が創造してきた文化に関する深い洞察力和高い教養を身につけ、自ら設定した研究テーマについて調査・分析した結果を口頭及び文章で発表することができる。
	秋学期	日本語学、日本文学及び漢文学に関する研究を通して、人類が創造してきた文化に関する深い洞察力和高い教養を身につけ、自ら設定した研究テーマについて調査・分析し、その結果を、専門知識のない人に対しても、わかりやすく説明することができる。

中一種免（英語）＜国際日本学部 国際日本学科＞

履修年次		到達目標
年次	学期	
1 年次	春学期	日本語、外国語及び情報機器によるコミュニケーション能力並びに文章力を身につけようとする意欲を有し、さまざまな領域の基礎的学問を通して、大学で学ぶ目的・目標を自覚している。
	秋学期	日本語、外国語及び情報機器によるコミュニケーション能力並びに文章力の基礎を身につけ、英語、英米文学及び英語圏文化などの領域を中心とするさまざまな領域の基礎的学問を通して、自分の将来設計について論理的に説明できる。
2 年次	春学期	英語、英米文学及び英語圏文化に関する研究の意義を認識し、これから進めてゆく自身の学びについて方向を定め、与えられた課題について調査・分析し、これらに対する自身の意見を述べるができる。併せて、日常的な英語によるコミュニケーションを行うことができる。
	秋学期	英語、英米文学及び英語圏文化に関する研究の意義を認識し、専攻する分野を絞り込みながら、与えられた課題について調査・分析し、所属しようとするゼミナールの担当教員に対して説得力のあるプレゼンテーションを行うことができる。併せて、日常的な英語によるコミュニケーションを行うことができる。
3 年次	春学期	英語、英米文学及び英語圏文化に関する研究の社会的位置づけを理解し、自ら課題を発見し、広く調査・分析して、これらに対するアカデミックな意見を述べるができる。併せて、やや高度な英語によるコミュニケーションを行うことができる。
	秋学期	英語、英米文学及び英語圏文化に関する知識や理解を深め、自ら研究テーマを設定し、広く調査・分析して、卒業研究等を視野に入れた説明をすることができる。併せて、やや高度な英語によるコミュニケーションを行うことができる。
4 年次	春学期	英語、英米文学及び英語圏文化に関する研究を通して、人類が創造してきた文化に関する深い洞察力和高い教養を身につけ、自ら設定した研究テーマについて調査・分析した結果を日本語及び英語（口頭・文章）で発表することができる。
	秋学期	英語、英米文学及び英語圏文化に関する研究を通して、人類が創造してきた文化に関する深い洞察力和高い教養を身につけ、自ら設定した研究テーマについて調査・分析し、その結果を、専門知識のない人に対しても、わかりやすく説明することができる。併せて、研究テーマについて英語で発表や質疑応答を行うことができる。

高一種免（英語）＜国際日本学部 国際日本学科＞

履修年次		到達目標
年次	学期	
1 年次	春学期	日本語、外国語及び情報機器によるコミュニケーション能力並びに文章力を身につけようとする意欲を有し、さまざまな領域の基礎的学問を通して、大学で学ぶ目的・目標を自覚している。
	秋学期	日本語、外国語及び情報機器によるコミュニケーション能力並びに文章力の基礎を身につけ、英語学、英米文学及び英語圏文化などの領域を中心とするさまざまな領域の基礎的学問を通して、自分の将来設計について論理的に説明できる。
2 年次	春学期	英語学、英米文学及び英語圏文化に関する研究の意義を認識し、これから進めてゆく自身の学びについて方向を定め、与えられた課題について調査・分析し、これらに対する自身の意見を述べることができる。併せて、日常的な英語によるコミュニケーションを行うことができる。
	秋学期	英語学、英米文学及び英語圏文化に関する研究の意義を認識し、専攻する分野を絞り込みながら、与えられた課題について調査・分析し、所属しようとするゼミナールの担当教員に対して説得力のあるプレゼンテーションを行うことができる。併せて、日常的な英語によるコミュニケーションを行うことができる。
3 年次	春学期	英語学、英米文学及び英語圏文化に関する研究の社会的位置づけを理解し、自ら課題を発見し、広く調査・分析して、これらに対するアカデミックな意見を述べることができる。併せて、やや高度な英語によるコミュニケーションを行うことができる。
	秋学期	英語学、英米文学及び英語圏文化に関する知識や理解を深め、自ら研究テーマを設定し、広く調査・分析して、卒業研究等を視野に入れた説明をすることができる。併せて、やや高度な英語によるコミュニケーションを行うことができる。
4 年次	春学期	英語学、英米文学及び英語圏文化に関する研究を通して、人類が創造してきた文化に関する深い洞察力と高い教養を身につけ、自ら設定した研究テーマについて調査・分析した結果を日本語及び英語（口頭・文章）で発表することができる。
	秋学期	英語学、英米文学及び英語圏文化に関する研究を通して、人類が創造してきた文化に関する深い洞察力と高い教養を身につけ、自ら設定した研究テーマについて調査・分析し、その結果を、専門知識のない人に対しても、わかりやすく説明することができる。併せて、研究テーマについて英語で発表や質疑応答を行うことができる。

中一種免（美術）＜建築&芸術学部 建築&芸術学科＞

履修年次		到達目標
年次	学期	
1 年次	春学期	日本語、外国語及び情報機器によるコミュニケーション能力並びに文章力を身につけようとする意欲を有し、さまざまな領域の基礎的学問を通して、大学で学ぶ目的・目標を自覚している。
	秋学期	日本語、外国語及び情報機器によるコミュニケーション能力並びに文章力の基礎を身につけ、絵画、彫刻、デザイン及び工芸などの領域を中心とするさまざまな領域の基礎的学問を通して、自分の将来設計について論理的に説明できる。
2 年次	春学期	絵画、彫刻、デザイン及び工芸に関する研究・制作の意義を認識し、これから進めてゆく自身の学びについて方向を定め、与えられた課題について調査・分析し、これらに対する自身の意見を述べることができる。
	秋学期	絵画、彫刻、デザイン及び工芸に関する研究・制作の意義を認識し、専攻する分野を絞り込みながら、与えられた課題について調査・分析し、所属しようとするゼミナールの担当教員に対して説得力のあるプレゼンテーションを行うことができる。
3 年次	春学期	絵画、彫刻、デザイン及び工芸に関する研究・制作の社会的位置づけを理解し、自ら課題を発見し、広く調査・分析して、これらに対するアカデミックな意見を述べることができる。
	秋学期	絵画、彫刻、デザイン及び工芸に関する知識・理解・技能を深め、自らテーマを設定し、広く調査・分析して、卒業制作等を視野に入れた説明をすることができる。
4 年次	春学期	絵画、彫刻、デザイン及び工芸に関する研究・制作を通して、創造力及び表現力を習得し、文化的に人間生活を考える素養を身につけて、自ら設定したテーマについて調査・分析した結果を口頭及び文章で発表することができる。
	秋学期	絵画、彫刻、デザイン及び工芸に関する研究・制作を通して、創造力及び表現力を習得し、文化的に人間生活を考える素養を身につけて、自ら設定したテーマについて調査・分析し、その結果を、専門知識のない人に対しても、わかりやすく説明することができる。

高一種免（美術）＜建築&芸術学部 建築&芸術学科＞

履修年次		到達目標
年次	学期	
1 年次	春学期	日本語、外国語及び情報機器によるコミュニケーション能力並びに文章力を身につけようとする意欲を有し、さまざまな領域の基礎的学問を通して、大学で学ぶ目的・目標を自覚している。
	秋学期	日本語、外国語及び情報機器によるコミュニケーション能力並びに文章力の基礎を身につけ、絵画、彫刻及びデザインなどの領域を中心とするさまざまな領域の基礎的学問を通して、自分の将来設計について論理的に説明できる。
2 年次	春学期	絵画、彫刻及びデザインに関する研究・制作の意義を認識し、これから進めてゆく自身の学びについて方向を定め、与えられた課題について調査・分析し、これらに対する自身の意見を述べることができる。
	秋学期	絵画、彫刻及びデザインに関する研究・制作の意義を認識し、専攻する分野を絞り込みながら、与えられた課題について調査・分析し、所属しようとするゼミナールの担当教員に対して説得力のあるプレゼンテーションを行うことができる。
3 年次	春学期	絵画、彫刻及びデザインに関する研究・制作の社会的位置づけを理解し、自ら課題を発見し、広く調査・分析して、これらに対するアカデミックな意見を述べることができる。
	秋学期	絵画、彫刻及びデザインに関する知識・理解・技能を深め、自らテーマを設定し、広く調査・分析して、卒業制作等を視野に入れた説明をすることができる。
4 年次	春学期	絵画、彫刻及びデザインに関する研究・制作を通して、創造力及び表現力を習得し、文化的に人間生活を考える素養を身につけて、自ら設定したテーマについて調査・分析した結果を口頭及び文章で発表することができる。
	秋学期	絵画、彫刻及びデザインに関する研究・制作を通して、創造力及び表現力を習得し、文化的に人間生活を考える素養を身につけて、自ら設定したテーマについて調査・分析し、その結果を、専門知識のない人に対しても、わかりやすく説明することができる。

高一種（工芸）＜建築&芸術学部 建築&芸術学科＞

履修年次		到達目標
年次	学期	
1 年次	春学期	日本語、外国語及び情報機器によるコミュニケーション能力並びに文章力を身につけようとする意欲を有し、さまざまな領域の基礎的学問を通して、大学で学ぶ目的・目標を自覚している。
	秋学期	日本語、外国語及び情報機器によるコミュニケーション能力並びに文章力の基礎を身につけ、デザイン及び工芸などの領域を中心とするさまざまな領域の基礎的学問を通して、自分の将来設計について論理的に説明できる。
2 年次	春学期	デザイン及び工芸に関する研究・制作の意義を認識し、これから進めてゆく自身の学びについて方向を定め、与えられた課題について調査・分析し、これらに対する自身の意見を述べることができる。
	秋学期	デザイン及び工芸に関する研究・制作の意義を認識し、専攻する分野を絞り込みながら、与えられた課題について調査・分析し、所属しようとするゼミナールの担当教員に対して説得力のあるプレゼンテーションを行うことができる。
3 年次	春学期	デザイン及び工芸に関する研究・制作の社会的位置づけを理解し、自ら課題を発見し、広く調査・分析して、これらに対するアカデミックな意見を述べることができる。
	秋学期	デザイン及び工芸に関する知識・理解・技能を深め、自らテーマを設定し、広く調査・分析して、卒業制作等を視野に入れた説明をすることができる。
4 年次	春学期	デザイン及び工芸に関する研究・制作を通して、創造力及び表現力を習得し、文化的に人間生活を考える素養を身につけて、自ら設定したテーマについて調査・分析した結果を口頭及び文章で発表することができる。
	秋学期	デザイン及び工芸に関する研究・制作を通して、創造力及び表現力を習得し、文化的に人間生活を考える素養を身につけて、自ら設定したテーマについて調査・分析し、その結果を、専門知識のない人に対しても、わかりやすく説明することができる。

履修年次		到達目標
年次	学期	
1 年次	春学期	・教職の意義及び教員の役割、職務内容、進路選択に資する各種の機会の提供等について理解する。 ・日本国憲法、体育、外国語コミュニケーション、情報機器の操作を理解、修得する。
	秋学期	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想について理解する。 ・日本国憲法、体育、外国語コミュニケーション、情報機器の操作を理解、修得する。
2 年次	春学期	・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を理解する。 ・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項を理解する。
	秋学期	・教育課程の意義を理解し、編成の方法を修得する。 ・教育の方法及び技術を修得する。 ・栄養教諭の役割及び職務内容について理解する。 ・幼児、児童及び生徒の栄養に係る課題について理解する。 ・食に関する指導の方法を修得する。
3 年次	春学期	・道徳及び特別活動について理解する。 ・生徒指導の理論を理解し、その方法を修得する。 ・食に関する指導の方法を修得する。
	秋学期	・教育相談の理論を理解し、その方法を修得する。
4 年次	春学期	・栄養教育実習の意義を理解し、1 週間の現場実習を行う心構えを修得する。 ・学校の実態、児童の発達段階や特性を理解する。 ・食に関する研究授業指導案の作成及び研究授業の実施能力を修得する。
	秋学期	・児童、生徒理解と今日的な教育課題を理解し、対人関係や教育相談の方法を修得する。 ・家庭や関連機関と連携した栄養教諭の役割を理解する。 ・栄養教諭と担任教諭の連携、教員間の協力体制について理解する。 ・栄養教諭として身につけるべき資質・能力及び教師としての実践的指導力を修得する。